

# 人文科学研究所研究叢書

## 11.『陽気な黙示録 オーストリア文化研究』

1994年4月15日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格5,700円（税別）

ISBN 4-8057-5306-4

まえがき	
<b>第一部 オーストリアの心</b>	
文化複合としての昔話	飯豊 道男
オペラ座のネストロイ	新井 裕
<b>第二部 世紀末の揺らぎ</b>	
ユーゲントシュティールの音楽 —マーラーの場合	喜多尾 道冬
世紀転換期ウィーン都市文学の盛衰	高橋 慎也
エロスの遍歴 —『輪舞』をめぐる	田尻 三千夫
シュニツラーの『ベルンハルディ教授』 —性格喜劇としての観点から	小泉 佐栄
<b>第三部 夢の変容</b>	
ホフマンスタールと表現主義	松本 道介
シュニツラーと戦争 —日記と作品『誘惑の喜劇』『池への道』をめぐる	棗田 光行
「私」のいない光景 —ホフマンスタール『むずかしい男』小論	佐藤 俊一郎
ホフマンスタールとリルケ —文学的世界の比較試み	戸口 日出夫
夢の地形 —ホフマンスタール、シュニツラー、ムシルの作品から	赤司 英一郎
<b>第四部 迫りくる暗闇</b>	
ムージルの〈可能性感覚〉の誕生 —帝制末期のカカーニエンにおける不随意性と随意性について	早坂 七緒
ウィーンのヘルマン・ブロッホ	入野田 眞右
ヨーゼフ・ロートの『ラデツキー行進曲』 —そのハプスブルク像をめぐる	小林 正幸
<b>第五部 伝統への懐疑</b>	
もうひとつのオーストリア文学 —アウスレンダーのチェルノヴィッツ	北 彰
パフォーマンスと懐疑 —ウィーン・グループにおける〈伝統〉と〈革新〉について	前田 良三
<犬のように> —トーマス・ベルンハルトの小説作法の一断面	初見 基
「第九の国」の夢 —ペーター・ハントケとスロベニア	平山 令二
あとがき	
年 表	
索 引	